

第8回奈良のお薬師さん大賞 被表彰者

◇ ^{にじゅっけん}二十軒 ^{みちよ}美知代 さん (田原本町在住) 看護師・保健師

昭和62年から平成18年まで広陵町に保健師として勤務され、孤立していた認知症の人の家族に働きかけ、広陵町家族会を発足させて交流会を開催し、認知症介護の普及と介護者支援に努められました。

退職後は、「公益社団法人 認知症の人と家族の会」奈良県支部のボランティアとして、本部電話相談や交流会などで介護支援を行われています。

また、介護事業所・訪問看護ステーションなどの現任研修を企画し、人材育成にも尽力されています。

◇ ^{はしもと}橋本 ^{くみこ}久美子 さん (川西町在住) はしもと薬局 薬剤師

昭和42年に川西町に「はしもと薬局」を開局して以降、長年にわたり地域住民への医薬品等の供給を通じて、医薬分業及び地域医療の推進に尽力されてきました。また、地域住民を対象としたお薬相談・健康相談や、食育として親子クッキングや野菜の収穫祭など、地域住民との交流イベントを通して地域の健康づくりにも大いに貢献されています。

また、昭和52年より令和2年まで40年余りにわたり、学校薬剤師として、学校保健・学校環境衛生の維持向上に努められてきました。

さらに、平成20年から現在に至るまで、奈良県薬物乱用防止指導員として啓発活動を行っており、地域の公衆衛生の向上に寄与されています。

◇ ^{すこ}健やか ^{こうりゅうじゅく}交流塾 (活動拠点：県下全域) ボランティアグループ

シニアの多様なニーズに対応するために、平成17年にシニア自身による「健やか交流塾」を設立されました。以来、健康・生きがい・仲間づくりに必要なイベントを企画・運営しながら、シニア世代の積極的な社会参加活動を促進されています。

イベントは、ハガキ絵教育や頭の体操教育などのインドア型のもの、体力維持のための史跡めぐりなどのアウトドア型のものなど様々な分野のものがあり、地域での孤立を防止するためのアプローチに力を注がれています。